

健康経営重点課題・実施計画

【活動推進の方向性】

健康経営宣言に基づき、生活習慣病、がん、メンタルヘルス、長時間労働リスクを重点項目とし、役職者の率先垂範を基本に健康レベルの向上、従業員の健康に対する意識向上に取り組みます。

重点課題	KPI	2022年度 中期目標	施策
1. 「生活習慣病対策」	a. ① BMI値 25以上（比率）	23.4%	①生活習慣改善のための情報提供（生活習慣病予防、健康診断、禁煙、メタボリック症候群、熱中症、インフルエンザ等）を取り上げ、従業員に周知 ②運動イベントの提供・参加推進（がん、うつ病、糖尿病、心疾患、高血圧など） ③「7つの健康行動」推奨
	② HbA1c 6.0以上（比率） ※ヘモグロビン	4.0%	
	*メタボリスク該当者率①&②	2.5%	
	b. 喫煙率	18.5%	①禁煙希望者へのフォローアップ ②禁煙意思のない人の対応
c. 生活習慣病ハイリスク者への再検/精検受診率	100%	健康高リスク者・特定保健指導対象者への医療機関受診推奨及び面談のフォロー	
2. 「がん対策」	a. 胸部X線 受診率	100%	①従業員へのがん予防に関する情報提供 検診の必要性やがん予防に関する情報提供を取り上げ、周知 *健康推進委員会は従業員目線で良い情報を全社へ周知し、従業員の意識をあげていく。 （マンガ、動画、ポスター作成など見せ方の工夫を含め） ②検診未受診者への受診促進及び、個別受診推奨実施
	b. ①X線検査(バリウム) 受診率	10.0%	
	②内視鏡受診率	90.0%	
	*胃部受診率（①バリウム+②内視鏡）	100%	
	c. 大腸（40歳以上）便潜血受診率	100%	
	d. ①婦人科検診 乳房	100%	
	②婦人科検診 子宮	90.0%	
e. がん検診（便潜血）陽性者 再検/精検受診率	100%		
3. 「メンタルヘルス対策」	a. メンタル疾患 休業率（一週間以上積休/欠勤）	0.8% 以下	①休職・復職者への対応整備 ②ストレスチェック集団分析における職場環境改善 ③ハラスメント教育及び、定期面談（希望者）実施による意識改革
4. 「長時間労働リスク対策」	a. 長時間労働人数（80H以上/月）	0名	①所定外労働時間の分析仕組作り、削減対策実施。通門時間管理による労働時間の適正管理強化。勤務時間外の電話対応による労務管理適正化と労働環境の改善 ②年次有給休暇の取得推進 年5日の有休取得義務化対応及び、年14日以上取得推進

近年の主な取り組み

【2020年度】

<受動喫煙防止>

- ・率先垂範として役職者から禁煙等に関連する健康宣言を実施しました。
- ・職制が喫煙者と面談して健保のオンライン禁煙プログラムへの参加を勧めました。
- ・健康経営宣言とともに発足させた健康推進委員会のメンバーが禁煙希望の喫煙者と面談して、健保の禁煙支援策の利用方法を紹介しました。

<メンタルヘルス>

- ・こころの健康づくり計画を策定、推進しています。

<健康情報の社内展開>

- ・健康推進委員会から婦人科がん検診の案内やメタボリックシンドローム予防の重要性等様々な健康情報を発信しました。
- ・健康推進委員会から健康的な生活習慣「7つの健康行動」の実践を呼び掛けました。

<食生活改善>

- ・従業員の健康に配慮して、化学的合成添加物不使用の食品を提供しています。

【2019年度】

<受動喫煙防止>

- ・率先垂範として役職者から禁煙等に関連する健康宣言を実施しました。
- ・職制が喫煙者と面談して健保のオンライン禁煙プログラムへの参加を勧めました。

<メンタルヘルス>

- ・こころの健康づくり計画を策定、推進しています。
- ・役職者向け研修を開催しました。

<健康情報の社内展開>

- ・健康推進委員会を発足し、様々な健康情報を発信しています。
- ・熱中症対策知識の普及のため、塩飴、塩タブレットを全従業員に配布しました。

<食生活改善>

- ・従業員の健康に配慮して、化学的合成添加物不使用の食品の提供を開始しました。